

TAKATSUKI

* 農委だより

第113号

令和6年5月

編集・発行
高槻市農業委員会

〒569-8501

大阪府高槻市桃園町2番1号

TEL 072-674-7421

<http://www.city.takatsuki.osaka.jp/>

農業委員会事業計画を決定

令和6年度の農業委員会事業計画を決定しましたのでお知らせします。今年度も本計画に基づき、関係機関と連携し、持続可能な農業経営に向けた農業振興の発展に取り組んでいきます。

基本方針

近年、農業従事者の高齢化や後継者不足による遊休農地の増加に加え、地震や台風など脅威を増している自然災害、長期化するウクライナ情勢などにより世界情勢が大きく変化し、農業者にとっても生産資材価格等の高騰など厳

しい状況が続いている。このような中、国は世界人口の増加による食料不足や国内の農業者の減少の加速化が見込まれる状況下で、国内生産の効率化やスマート農業の展開等を通じた農業の成長産業化に向け、分散した圃場の状況を解消し、農地の集約化等を進めるとともに担い手の確保・育成を図ることが必要であるという考えのもと、令和6年2月27日に「食料・農業・農村基本法」の改正案を国会に提出した。

改正案では、食料安全保障に目を向け、農産物及び肥料などの多くを輸入に頼る現状から、家畜の糞尿や下水汚泥を活用する等国内資源の有効活用、農業従事者の確保の方法、生産者と消費者の相互理解による生産者の適正な利益確保の援助な

どに焦点をあて、安心かつ安定的に食料を確保し続けることを目指すものである。

一方、市が策定した「農業基本計画」においては、農業者をはじめ、市民や農業委員会を筆頭とする関係組織とが協働で様々な施策を行うことにより、農林業のさらなる振興に取り組んでいくとし、これに加え、市は本年度から豊かな農業を次世代に繋ぐため、地域の農業者をはじめとした関係機関との協議を進め、「地域計画」の作成を行っていくとしている。

当農業委員会では昨年7月に農業委員及び農地利用最適化推進委員

活動の概要

- ①「農地の集約」の取組として、市が実施する農地の利用調整及び利用権設定等を支援・協力する。
- ②「遊休農地の解消」の取組として、遊休農地対策本部等と連携、広報紙等による解消に向けた諸制度の啓発を行うことにより、遊休農地解消及び発生 の未然防止を図る。
- ③「新規参入の促進」の取組として、関係機関との連携を強化するとともに、新規就農希望者による地元調整などに対して必要な支援・協力を行う。

※以上3点の最適化活動の「成果目標」と、活動実績を基本とする「活動目標」のもと、本市農業振興の発展に邁進する。



遊休農地の解消に向けた活動

「遊休農地の解消」、「新規参入の促進」といった農地利用の最適化活動の推進に加え、「地域計画」の作成においても、市や関係機関、地域の農業者と連携を図っていく所存である。

審議を行う定例総会



令和6年度高槻市予算が成立

令和6年度の高槻市当初予算が、3月に開催された市議会において可決され、成立しました。このうち農林緑政課、並びに下水河川企画課及び下水河川事業課が所管する農業関連予算の概要についてお知らせいたします。

今年度の本市農林緑政課の農業関係の総予算額は7,126万4千円となります。その内訳として、有害鳥獣対策事業や農業振興事業、地域計画作成事業などの農業振興事業に1,208万2千円、学校給食や地元産農産物及び特産品支援などといった地産地消・食育推進事業に315万円、農林業祭や農産物即売会、市民農園推進など、農地の多面的機能



濱田市長と農業についての意見交換

そのほか、営農指導活動や担い手を育成する後継者育成事業、経営所得安定対策事業などの営農推進事業は836万1千円。農道整備や遊休農地対策などの農業基盤の整備及び保全事業は3,565万6千円となっています。また、下水河川企画課及び



農地に広がるレンゲ畑 (三島江)

の維持を支援するなどの市民協働・交流支援事業に1,201万5千円となっています。

基盤の整備事業及び、河川・水路等の維持管理事業)の総予算額は6億7,727万円となっています。

本予算に基づく施策面的な機能を発揮すべく、遊休農地の発生防止・解消を継続的に、優良な農空間を保全・活用のみならず、農業者の

農業委員会の活動 (令和6年1月～5月)

- | | |
|-------|-----------------|
| 1月17日 | 第1回定例総会・第1回常任会議 |
| 2月16日 | 第2回定例総会・第2回常任会議 |
| 3月19日 | 第3回定例総会・第3回常任会議 |
| 3月21日 | 大阪府農業会議総会 |
| 4月17日 | 第4回定例総会・第4回常任会議 |
| 4月24日 | 三島地区農業委員会連合会総会 |
| 5月21日 | 第5回定例総会・第5回常任会議 |
| 5月29日 | 全国農業委員会会長大会 |

全国農業新聞

農業・農村・農政の動きをタイムリーにお届け
経営とくらしに役立つ農業総合専門紙を読んでみませんか

購読料：1か月700円
発行元：全国農業会議所
発行日：毎週金曜日
申込先：農業委員会事務局
問合せ：☎674・7421

下水河川事業課の農業関連(農業生産活動、新規参入者の促進や担い手への農地集積など、農地利用の最適化を図るとともに、本市農業の持続的発展を目指すものとなっています。

農地法	許可申請・届出の別	件数	面積 (㎡)
第3条	許可申請	22	21,361.00
	届出	74	122,928.81
第4条	許可申請 (調整区域)	3	1,475.00
	届出 (市街化区域)	23	10,579.00
第5条	許可申請 (調整区域)	5	9,732.00
	届出 (市街化区域)	32	27,136.21

令和5年度事務処理状況まとめ



現地調査をする農業委員及び推進委員

令和5年度の農地法等に基づく農地関係の事務処理状況がまとまりましたので、お知らせします。

種 別	件数	面積 (㎡)
農用地利用集積計画 (基盤法)	62	87,308.00
農用地利用集積計画 (促進計画)	7	7,239.00
農地法第18条第6項の通知	8	7,926.00

種 別	件数	筆数	面積 (㎡)
相続税納税猶予適格者証明	7	31	14,165.70
引き続き農業経営を行っている旨の証明	73	255	160,305.64
相続税の納税猶予に係る特例農地等の利用状況	9	22	17,781.00

農作業中の熱中症に要注意!!

夏に近づくにつれて気温が上がり、熱中症になる危険性が増加していきます。十分に注意しましょう。

◎熱中症の症状

熱中症の症状はめまいや頭痛、倦怠感、吐き気、嘔吐、大量の発汗、こむら返り、失神、けいれん、意識障害など多岐にわたります。症状が悪化すると命に関わるケースもあります。

◎予防

体の水分は気づかぬうちに失われていきます。こまめな水分補給や、日陰など涼しい場所で休息をとり、日中の気温が高い時間帯の農作業は極力避けましょう。通気性の良い吸湿・速乾の衣類を着用するのもおすすめです。

◎熱中症が疑われる場合の措置

1. 暑い環境で体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断しましょう!
2. 涼しい環境に避難し、水分・塩分を補給、服をゆるめて風通しをよくし、首の周りや脇の下、足の付け根を冷やすなど応急措置を行いましょう!
3. 自力で水分補給が不可能な場合や、呼びかけても反応がない・意識がない場合などは、すぐ病院で手当てを受けるようにしましょう!

今年度の主な行事予定

- ・定例総会…毎月1回開催
- ・全国農業委員会会長大会…5月
- ・市長へ「農地等利用最適化推進施策等に関する意見」提出…10月
- ・大阪府農業委員大会…10月
- ・視察研修…11月
- ・農林業祭…11月

※諸事情により中止、または変更の可能性があります。

たかつき春の農産物即売会を開催

4月27日に「たかつき春の農産物即売会」が神服神社（宮之川原元町）で行われ、昨年に引き続き多くの出店がありました。

高槻市農業振興団体協議会が主催するこのイベントは、関係団体と多くの農業者が出店しています。当日は地元高槻の旬の野菜や米など、新鮮で安心・安全な農産物や花苗を求め、大盛況となりました。



即売会に出店する渡邊委員（左） 市長と挨拶を交わす畑委員（右）

人事異動のお知らせ

事務局

- ★転入 ※4月1日付
次長 穂積 渉（街にぎわい部農林緑政課長）
- ★内部異動
局長 永井和宏（事務局参事兼次長）
- ★転出 ※4月1日付
局長 藤井靖之
（街にぎわい部部長代理兼農林緑政課長）

農林関係部局

- ★転入 ※4月1日付
（農林緑政課）
主査 田中敦也（都市創造部審査指導課主査）
主任 上田静栄（都市創造部管理課主任）
仁田和徳（健康福祉部地域共生社会推進室）
辻本桃子（新規採用）
- ★昇格
主査 久本 直（農林緑政課）
- ★転出 ※4月1日付
（街にぎわい部）
部長代理兼産業振興課長
境谷圭太（市民生活環境部市民課富田支所長）
（農林緑政課）
副主幹 加藤智大（水道部総務企画課副主幹）
主任 中庭千香子（総合戦略部財務管理室主任）

Photo News



高谷委員が栄養教諭に講演を行いました

昨年12月21日、高槻市教育会館で市内小中学校の栄養教諭等に向けた研修会が行われ、本市農業委員の高谷敏宜委員が講師として招かれました。

高谷委員は長年水稲の他、20〜30種類もの野菜を栽培し、JA直売所等での販売のほか、レストラン等の飲食店、市内の学校給食に野菜を納入しています。

また、市内の学習田事業にも積極的に参加し、地域農業の振興に対しても精力的に取り組んでいます。

講演では、学校給食に野菜を納入する生産者の思いなどを話され、栄養教諭等も真剣な表情で聞き入っていました。



講演を行う高谷委員

一乗寺の竹林で子どもたちがタケノコ掘り

4月23日に一乗寺（梶原2丁目）の竹林で、子どもたちがタケノコ掘りを体験しました。

このタケノコ掘りは、高槻里山ネットワークの協力のもと、周辺の幼稚園や保育園に通う子供たちに向けて行われているものです。

子どもたちは、タケノコを見つけると、みんなで協力しながら一生懸命掘り起こすなど、タケノコ掘りを存分に楽しんでいました。



タケノコ掘りをする子どもたち